

**【練馬区】**  
校務 DX 計画

1 校務DXの取組みと課題

本区では、「学校が保護者等に求める押印の見直し及び学校・保護者等間における連絡手段のデジタル化の推進について（通知）」（令和2年10月20日、文部科学省）を受けて、令和5年度に学校と保護者等間の連絡手段として、保護者向け情報伝達サービスを導入した。また、令和5年度より通知表の公印の電子化を開始した。

一方、教職員が利用するシステム環境は、個人情報扱う環境とインターネットに接続する環境が分かれており、ログインアカウントの管理やデータファイルの移動に手間がかかっている。さらに、指導要録や保健帳票の諸帳簿など長期に保管が必要なものについて、紙に印刷して保管しており、紙資源の削減や保管場所の確保が課題となっている。

2 今後の取組

今後さらに、文部科学省が作成した、教育委員会および学校が校務DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を整理した「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」の自己点検の結果等を踏まえ、効率化をさらに進めていくため、クラウドサービスや生成AI等の活用等の検討のほか、以下の方策を実施する。

(1) システム環境の見直し

令和7年度に、教職員が利用するシステム環境を整備し、情報セキュリティの安全性を確保しながら、各環境にシングルサインオンできる仕組みを構築する。

また、児童生徒用タブレットパソコンの通信増強対策として導入した校内のWi-Fi設備を活用し、教職員が利用するパソコンを無線化してロケーションフリーな働き方を実現する。

さらに、次世代校務支援システムの導入について、文部科学省の方針や東京都の動向を踏まえながら、検討を進める。

(2) 諸帳簿の電子化

令和7年度から、指導要録・保健帳票の諸帳簿を電子化し、成績管理や教材準備等における学校業務の効率化を進める。

(3) その他

ペーパーレス化・効率化をさらに進めていくため、FAXおよび押印廃止に向けた取り組みを一層推進する。